

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 中国財務局長 |
| 【提出日】 | 2020年7月10日 |
| 【四半期会計期間】 | 第36期第3四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー |
| 【英訳名】 | ADTEC PLASMA TECHNOLOGY CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 森下 秀法 |
| 【本店の所在の場所】 | 広島県福山市引野町五丁目6番10号 |
| 【電話番号】 | (084) 945 - 1359 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役総務・経理部長 坂谷 和宏 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 広島県福山市引野町五丁目6番10号 |
| 【電話番号】 | (084) 945 - 1359 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役総務・経理部長 坂谷 和宏 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第35期 第3四半期連結 累計期間 | 第36期 第3四半期連結 累計期間 | 第35期 |
|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年9月1日 至2019年5月31日 | 自2019年9月1日 至2020年5月31日 | 自2018年9月1日 至2019年8月31日 |
| 売上高 (千円) | 4,662,572 | 5,245,951 | 6,055,700 |
| 経常利益 (千円) | 462,953 | 644,294 | 515,071 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 288,296 | 465,377 | 352,053 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 279,807 | 453,426 | 305,886 |
| 純資産額 (千円) | 5,418,513 | 5,829,312 | 5,444,591 |
| 総資産額 (千円) | 9,602,806 | 11,210,724 | 9,772,770 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 33.59 | 54.21 | 41.01 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 56.2 | 52.0 | 55.6 |

| 回次 | 第35期 第3四半期連結 会計期間 | 第36期 第3四半期連結 会計期間 |
|----------------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2019年3月1日 至2019年5月31日 | 自2020年3月1日 至2020年5月31日 |
| 1株当たり四半期純利益又は1株 当たり四半期純損失 (円) | 8.53 | 11.25 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

新型コロナウイルスにより、当社グループの経営成績及び財政状態に大きな影響は生じておりませんが、今後の世界経済の動向に注視しております。また、生産体制については、海外子会社（ベトナム）を中心とする方針に変わりはないものの、国内の生産体制を整備することにより緊急事態への対応に取り組んでおります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資が伸び悩むとともに個人消費も低調に推移し、世界経済においては、米中貿易摩擦の影響があるものの、米国・欧州における雇用・所得環境の改善を背景として個人消費が堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界各国において経済活動が停滞し、先行き不透明な状況で推移いたしました。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、2018年からの半導体メーカーの設備投資が延期されておりましたが、5G/データセンター関連等の投資拡大に伴い大手半導体メーカーの設備投資に動きが出てきた中、当社等は受注獲得に注力するとともに、世界各国で行われた都市封鎖による生産活動への影響を懸念し、国内生産体制の整備に取り組んでまいりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、シリコンウエハ引揚用装置向け電源の出荷が一服する中、研究機関等向け定期点検作業等のサービス売上を確保いたしました。また、一般市場向け製品の開発を行い、顧客評価を進めてまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,245,951千円（前年同期比12.5%増加）、営業利益635,791千円（前年同期比30.7%増加）、経常利益644,294千円（前年同期比39.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益465,377千円（前年同期比61.4%増加）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高4,758,685千円（前年同期比25.7%増加）、営業利益719,373千円（前年同期比56.3%増加）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高487,266千円（前年同期比44.4%減少）、営業損失84,888千円（前年同期は営業利益26,007千円）となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 （自 2018年9月1日 至 2019年5月31日） | 当第3四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年5月31日） |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,662,572 | 5,245,951 |
| 売上総利益 | 1,682,695 | 2,044,509 |
| 営業利益 | 486,369 | 635,791 |
| 経常利益 | 462,953 | 644,294 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 288,296 | 465,377 |

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日) | |
|------------------|---|---------|---|---------|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 半導体・液晶関連事業(当社等) | 3,786,362 | 460,138 | 4,758,685 | 719,373 |
| 研究機関・大学関連事業(IDX) | 876,210 | 26,007 | 487,266 | 84,888 |
| 合計 | 4,662,572 | 486,146 | 5,245,951 | 634,485 |

(注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失()を表しております。

財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は11,210,724千円であり、前連結会計年度末と比較して1,437,953千円増加しております。

これは、現金及び預金の減少(203,605千円)、受取手形及び売掛金の増加(675,732千円)、仕掛品の増加(725,042千円)等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,381,411千円であり、前連結会計年度末と比較して1,053,232千円増加しております。

これは、買掛金の増加(225,237千円)、短期借入金の増加(600,000千円)、未払法人税等の増加(159,493千円)等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は5,829,312千円であり、前連結会計年度末と比較して384,721千円増加しております。

これは、利益剰余金の増加(396,706千円)等によるものであります。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd.、Hana Technology Co., Ltd.、愛笛科技有限公司及び蘇州啄電子有限公司を表しております。

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 経営方針・経営戦略等及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、406,983千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設について、当第3四半期連結累計期間に完成したものは次のとおりであります。

| 会社名 | 所在地 | セグメントの名称 | 設備の内容 | 完了年月 |
|-------------------------------|-----------|------------|--------|----------|
| Phuc Son Technology Co., Ltd. | ベトナムバクニン省 | 半導体・液晶関連事業 | 本社及び工場 | 2019年12月 |

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 28,000,000 |
| 計 | 28,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年5月31日) | 提出日現在発行数(株) (2020年7月10日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 8,586,000 | 8,586,000 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 8,586,000 | 8,586,000 | | |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2020年3月1日～ 2020年5月31日 | | 8,586,000 | | 835,598 | | 908,160 |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

なお、2020年6月4日付で公衆縦覧に供されている大量保有報告書等において、三井住友DSアセットマネジメント株式会社が2020年5月29日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社としては当四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができておりません。

当該大量保有報告書等の内容は、以下のとおりであります。

| 氏名又は名称 | 住所 | 保有株券等の数(株) | 株券等保有割合(%) |
|--------------------------|--|------------|------------|
| 三井住友DSアセットマネ ジメント株式会社 | 東京都港区愛宕二丁目5番1号 愛宕 グリーンヒルズMORIタワー28階 | 568,100 | 6.62 |

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年5月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 2,000 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 8,581,500 | 85,815 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 2,500 | - | - |
| 発行済株式総数 | 8,586,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 85,815 | - |

(注)「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式が61株含まれております。

【自己株式等】

2020年5月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|---------------------|-------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社アドテックプラズマテクノロジー | 広島県福山市引野町五丁目6番10号 | 2,000 | - | 2,000 | 0.02 |
| 計 | - | 2,000 | - | 2,000 | 0.02 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,809,781 | 2,606,176 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,378,055 | 2,053,788 |
| 製品 | 457,664 | 444,596 |
| 仕掛品 | 651,172 | 1,376,214 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,342,022 | 2,359,911 |
| 前払費用 | 53,919 | 56,980 |
| 未収入金 | 566,131 | 474,408 |
| その他 | 12,304 | 24,714 |
| 流動資産合計 | 8,271,052 | 9,396,790 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,126,856 | 1,398,732 |
| 減価償却累計額 | 662,658 | 698,911 |
| 建物及び構築物(純額) | 464,197 | 699,821 |
| 車両運搬具 | 44,486 | 43,402 |
| 減価償却累計額 | 35,210 | 36,868 |
| 車両運搬具(純額) | 9,275 | 6,534 |
| 工具、器具及び備品 | 1,056,704 | 1,308,188 |
| 減価償却累計額 | 825,025 | 867,471 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 231,679 | 440,717 |
| 土地 | 236,519 | 236,519 |
| 使用権資産 | - | 155,405 |
| 減価償却累計額 | - | 7,611 |
| 使用権資産(純額) | - | 147,793 |
| 建設仮勘定 | 247,300 | - |
| 有形固定資産合計 | 1,188,972 | 1,531,385 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 16,258 | 18,326 |
| 繰延税金資産 | 36,615 | 44,536 |
| その他 | 215,507 | 74,974 |
| 貸倒引当金 | 14,350 | 14,350 |
| 投資その他の資産合計 | 254,031 | 123,487 |
| 固定資産合計 | 1,501,717 | 1,813,933 |
| 資産合計 | 9,772,770 | 11,210,724 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 155,948 | 381,185 |
| 短期借入金 | 2,250,000 | 2,850,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 260,122 | 249,120 |
| 未払金 | 155,655 | 220,779 |
| 未払費用 | 61,653 | 96,092 |
| 未払法人税等 | 12,740 | 172,234 |
| 役員賞与引当金 | - | 24,750 |
| その他 | 40,521 | 50,569 |
| 流動負債合計 | 2,936,641 | 4,044,731 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,296,528 | 1,214,376 |
| 繰延税金負債 | 4,520 | 10,747 |
| 退職給付に係る負債 | 15,611 | 17,311 |
| 資産除去債務 | 72,705 | 93,450 |
| その他 | 2,171 | 793 |
| 固定負債合計 | 1,391,537 | 1,336,679 |
| 負債合計 | 4,328,178 | 5,381,411 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 835,598 | 835,598 |
| 資本剰余金 | 908,160 | 908,160 |
| 利益剰余金 | 3,761,758 | 4,158,464 |
| 自己株式 | 447 | 480 |
| 株主資本合計 | 5,505,070 | 5,901,742 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,703 | 1,617 |
| 為替換算調整勘定 | 70,605 | 70,812 |
| その他の包括利益累計額合計 | 75,309 | 72,429 |
| 非支配株主持分 | 14,830 | - |
| 純資産合計 | 5,444,591 | 5,829,312 |
| 負債純資産合計 | 9,772,770 | 11,210,724 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 4,662,572 | 5,245,951 |
| 売上原価 | 2,979,876 | 3,201,442 |
| 売上総利益 | 1,682,695 | 2,044,509 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,196,326 | 1,408,717 |
| 営業利益 | 486,369 | 635,791 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,281 | 920 |
| 受取配当金 | 201 | 206 |
| 受取手数料 | 213 | - |
| 受取家賃 | 10,176 | 8,850 |
| 補助金収入 | 14,507 | 13,930 |
| その他 | 8,979 | 13,847 |
| 営業外収益合計 | 35,358 | 37,755 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,187 | 20,329 |
| 為替差損 | 34,448 | 8,204 |
| その他 | 5,138 | 719 |
| 営業外費用合計 | 58,774 | 29,252 |
| 経常利益 | 462,953 | 644,294 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 462,953 | 644,294 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 87,164 | 194,413 |
| 法人税等調整額 | 80,454 | 666 |
| 法人税等合計 | 167,619 | 193,747 |
| 四半期純利益 | 295,334 | 450,546 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失() | 7,038 | 14,830 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 288,296 | 465,377 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 295,334 | 450,546 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,220 | 3,085 |
| 為替換算調整勘定 | 11,305 | 206 |
| その他の包括利益合計 | 15,526 | 2,879 |
| 四半期包括利益 | 279,807 | 453,426 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 272,769 | 468,257 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 7,038 | 14,830 |

【注記事項】

(会計方針の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号(リース)を適用しております。IFRS第16号の適用に当たっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、投資その他の資産の「その他」に含めていた一部の資産について「使用権資産」への振替を行っております。

その結果、当該会計基準の適用に伴い、当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「使用権資産」が147,793千円増加し、投資その他の資産の「その他」が147,793千円減少しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 105,152千円 | 109,224千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2018年11月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 42,919 | 5 | 2018年8月31日 | 2018年11月28日 | 利益剰余金 |
| 2019年4月12日 取締役会 | 普通株式 | 34,335 | 4 | 2019年2月28日 | 2019年5月7日 | 利益剰余金 |

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 2019年11月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 34,335 | 4 | 2019年8月31日 | 2019年11月28日 | 利益剰余金 |
| 2020年4月10日 取締役会 | 普通株式 | 34,335 | 4 | 2020年2月29日 | 2020年4月23日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年9月1日 至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 半導体・液晶 関連事業 | 研究機関・大学 関連事業 | 合計 | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|----------------|-----------------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,786,362 | 876,210 | 4,662,572 | - | 4,662,572 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 8,782 | 12,640 | 21,423 | 21,423 | - |
| 計 | 3,795,144 | 888,850 | 4,683,995 | 21,423 | 4,662,572 |
| セグメント利益 | 460,138 | 26,007 | 486,146 | 222 | 486,369 |

(注) 1. セグメント利益の調整額222千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日 至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 半導体・液晶 関連事業 | 研究機関・大学 関連事業 | 合計 | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|----------------|-----------------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,758,685 | 487,266 | 5,245,951 | - | 5,245,951 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 11,364 | 26,089 | 37,453 | 37,453 | - |
| 計 | 4,770,050 | 513,355 | 5,283,405 | 37,453 | 5,245,951 |
| セグメント利益又は損 失() | 719,373 | 84,888 | 634,485 | 1,306 | 635,791 |

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額1,306千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日) |
|---------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 33円59銭 | 54円21銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 288,296 | 465,377 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円) | 288,296 | 465,377 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 8,583,960 | 8,583,957 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年4月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....34,335千円

(ロ) 1株当たりの金額.....4円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2020年4月23日

(注) 2020年2月29日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月10日

株式会社アドテック プラズマ テクノロジー

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中原 晃生 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平岡 康治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アドテック プラズマ テクノロジーの2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アドテック プラズマ テクノロジー及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。